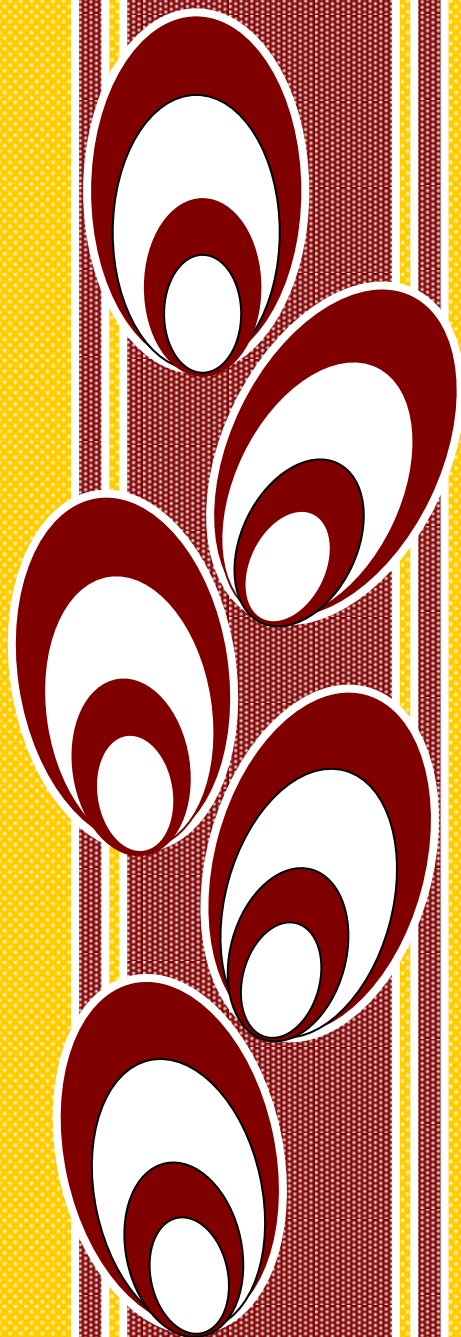


陰と陽の悲喜劇 R



作品解説

或いは、本文に入れそびれた言い訳ですね…。

「本能の光」

実は、入稿時、間違っ下書きを送ってしまい、無理を言って差替えてもらいました…有難う、大陽出版秋葉原支店の I 沢さんのお陰です。最初のかい話から、一気に（或る意味では）下世話な話に落ちるといところが、ロココらしさでもあるし、ポイントなのです。それ以外なし（笑）。イメージは、OVA2 の冒頭のあれです（笑）。

「タラチネノ」

再録です。オフ本のオマケのオフ本だったのですが、完売してるし。R×Mベースで、マリア→ノア。というか、マリア→ロココ？
実はこれ、元データが飛んでしまって無いのですが、プリントアウトした原稿を、スキャナでPDFファイル形式で読み取って、再データ化しました。文明の利器万歳。

「恋は闇」

8 割完成していた原稿が、エラー発生して、飛びました。バックアップもプリントアウトもしておらず、そういう話に限ってネタ帳はメモ書き 5 行。脳内記憶で書いたら、多分、最初とは違う話になりました。元ネタは、6 年前のノートに走り書きですが、そのノートも行方不明。ってか、こんな弱気はマリアじゃないと言われそうですが、それもありません…多分ね。

「夜の虹」

再録です。R×Mベースで、ロココ→神帝。
最初は R×M 本、二回目は無料配布本に掲載しましたが、何れもコピー本なので良いかなと。実は、これ、1 回、改稿した後、データが飛んで更にもう一回、改稿したんだよね…。
無料配布本は RM 本ではなかったので、削った、R→M 成分をちょっとだけ、入れました（笑）
こんなのロココじゃない？まあ、所詮、ロココだし、見逃して下さい。

おまけ劇場「R 坂の殺人事件（笑）」 第1回

春画の多くは、男女の交悦の場面を描いたものだが、中には、責め絵と呼ばれる、女人の、責め苛まれる様を描いたものもある。春画の中では、決して主流では無いだろうが、中には好んで求める客もあり、それなりに需要もあった。

ロココは、責め絵を好んで描く絵師だった。彼の描く一連の責め絵は、「女地獄」の名で、その筋では、つとに有名だった。美しい女の責め苛まれる姿は、それだけで見る者の秘めた嗜虐心を煽り立て、淫心に直接的に訴えかけるものだが、ロココの描く責め絵にはそれだけに留まらない品のようなものすらあった。それでいて、艶もある。

元々は和絵のそれなりに腕の立つ絵師で、廓の出入り絵師の一人でもあったが、いかんせん、美人画を描く絵師は数多く、ロココの描く花魁は、それなりではあったが、それ以上に評判をとるものではなかった。口さがない目の肥えた楼主からは、技巧は十分だが、艶が無いとまで言われる始末だった。

そのロココが責め絵を描き始めたのは、新たに天神になったばかりの花魁の、喧伝のための美人画を依頼されたことがきっかけであり、全くの偶然だった。その花魁がマリアだった。

マリアは他の花魁や女郎に比べると、幾らか印象が薄い花魁だった。単純に美貌だけならば、妓楼でも指折り数えられるほどのものだったが、他の天神に比べれば、話題になることも少なく、何より、呼ぶ者が少なかった。

それでも熱心に入れ上げる客がいたのと、天神に相応しい教養と美貌を備えていることには変わらぬので、天神の位にはあったが、遊郭一と評判をとり、番付の筆頭にいる天神のかぐやに比べれば、花が無いと揶揄されても、否めない部分もあった。

加えて、天神になるのも決して早くはなかった。漸く天神の位を襲ったマリアに、突き出しの旦那は殊の外入れあげており、是非とも彼女を、名実共に遊郭一の天神にしてやりたいと常々、願っていた。その旦那と知己があり、なおかつそれなりの腕を持っている絵師が彼だった。その偶然で彼は、彼女と出会う事になった。出会った時の、印象はなかなか忘れられるものではない。幾ら花魁を描く絵師と言えども、そう易々と天下の花魁に見えるわけもない。 (続く)

再びこんにちわ、お疲れ様です。さわ・なです。

後書き追加代わりのおまけペーパーでした（笑）。

毎回、P調整用に、本文原稿が終わらないうちから後書きの素案を作っているのですが、今回、それを手直す間もなく入稿してしまいましたので、何時も以上にちぐはぐな感じになっております（汗）。

と、言うか、タイトルと中身自体のチグハグな感じが若干、否めないのですが…、まあ、これはこれでも悲喜劇してますが（笑）。

いや、今だから言いましょう。

この本、実は、最初はロコマリクロニクル兼一族モノになる予定だったんです（笑）。タカオカ様に表紙のお願いする時もそのつもりだったんですが…。先祖と子孫というか、ルーツのドロドロした（笑）関係性の、後世に与える影響、みたいな？（笑）。SBMとか、新の時代の話と絡ませたかったのですが、ですが…(^^ゞ。自分で言うのもなんですが、風呂敷を広げ過ぎ、収集がつかなくなっていましたとき。しかし、広げるといえば、アニメ版限定の話ですが、マリアのDNAって、どんだけ、男を振り回すんだよ！？と、「祝」と「SBM（アニメ）」を見て思いました（笑。本人は取り敢えず、置いておこう…え？）。アニメの設定を遵守すれば、氷ミコとアムルと、マーニャって、先祖と子孫の違いで同じDNAを共有してる…と思うと複雑です。更にそこに、マルコとか、シルヴァ入れたら…とか、まあそういう話でした。ロココはロココで、ひかり伝で、意外と神位が低い？とか思ってしまう部分があったので、その辺を…とか。2000以降、全国時間差発売が当たり前のようにもなってしまったせいか、ひかり伝については、思いつきずれているかもしれませんが、その辺はご了解下さい（笑）。

まあ、そんな感じで、色々勉強不足はお見逃し下さい。

そして、謎のショートショートは、タカオカ様のイラストがあんまりツボだったので、そこに触発されて書いてみたものの、途中で時間切れになった、名残です（笑）。この後、段々、身も蓋もなくなっていくのですが、それでも続きます（笑）。まあ、並行世界では僕達はウルトラマンだったんだ！、的なノリですね…パラレル（笑）。あ、勿論、遊郭も嘘っぱちです。如何でしょうか？>私信

それでは、眠くて何だか良く分からなくなっておりますが、多少なりとも、楽しんでいただけたのなら、幸いです。

さわ・な 拝